

# PPPD(持続性知覚性姿勢誘発めまい)

3ヶ月以上持続するめまいで今まで診断がつかなかったものが、最近、持続性知覚性姿勢誘発めまい(PPPD)と診断されるようになりました。

今まで診断のつかなかっためまいの、約6～7割がPPPDという研究結果も報告されています。PPPDの症状は持続する浮動感、不安定感、非回転性めまいで、立位や歩行、体動、動くものをみることなどで増悪します。回転性めまいの既往がある人で多いとも言われています。

皆さんの中に天井が回るようなめまいを経験した後で、持続する浮動感や不安定感に悩んでいる方はいませんか？今までは診断がつかず、様子を見ましようと言われていたこのようなめまいが、最近PPPDと診断され治療が行われるようになってきました。PPPDには少量の抗うつ薬、抗不安薬、漢方薬、前庭リハビリテーションなどが有効とされています。

持続するめまいに悩んでいる方がいましたら、ご相談下さい。